



## 大滝山三重塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	おおたきさんさんじゅうのとう
所在地	備前市大内
指定年月日	大正15年4月19日
解説	<p>嘉吉元年(1441)、室町幕府6代将軍足利義教が再建した三重塔。方三間、本瓦葺。総高19.72m(うち铸铁製相輪高6.12m)。柱は総円柱で、軒は深く、二重繁垂木である。和様の斗■(ときょう※)を三手先に組み、尾垂木を出し、四隅[しすみ]に青铜製の風鐸を付け、中備[なかぞなえ]には形のよい葺束[みのづか]を用いている。塔は全体に木割が大きく、軒の出も深い荘重な姿で、室町時代の特徴がよく出ている。(※「ときょう」の「きょう」は木へんに共)</p>
アクセス方法	JR伊部駅から車で約10分、宇野バス「大内」バス停から徒歩約40分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ 
備考	